

## ⑦8 国道325号阿蘇大橋復旧事業

受賞機関 国土交通省 九州地方整備局 熊本復興事務所

**キーワード** 熊本地震、災害復旧、工期短縮

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

地震により落橋した阿蘇大橋の復旧事業。早期の復旧が求められる中で、大型のインクラインなど、高度な施工技術の導入と24時間体制の施工により、標準工期に比べ約1年4ヶ月の工期短縮を実現した点が評価された。

### 1. はじめに

本事業は、平成28年4月に発生した熊本地震により落橋し通行不能となった国道325号阿蘇大橋の架替えを含む、延長約1kmの災害復旧事業であり、熊本県からの要請を受け、道路法に基づく国の代行事業として復旧を進めてきた。

同地震による斜面崩壊の影響や将来の大規模地震に対する安全性等を総合的に勘案したルートや構造形式の選定とあわせて、早期復旧を図るための施工技術を採用し、令和3年3月7日に開通となった。

### 2. 事業の概要

国道325号阿蘇大橋は、熊本県と大分県を結ぶ国道57号から宮崎県高千穂町につながる国道325号が分岐した地点にあり、南阿蘇への玄関口として物流や観光など重要な役割を担っており、早急な復旧が求められた。

復旧・復興を加速化し、強力に推進していくため、南阿蘇村内に開所した熊本復興事務所と熊本地震復旧対策研究室（国土技術政策総合研究所）が両輪となり、また、行政と専門家で構成される技術検討会における審議を経ながら事業推進を図ってきた。

復旧工事については、急峻な地形と強風による影響を受けやすい厳しい現場条件のなかでも資機材を効率的か



開通した新阿蘇大橋

つ大量に運搬するための巨大エレベーター「インクライン」の設置や橋脚の施工には作業用足場と型枠が一体化し油圧ジャッキで上昇する「オートクライミング工法」の採用、超大型の移動作業車を用いた上部工片持ち架設等を行うとともに、24時間体制の施工により、標準工期に比べ約1年4ヶ月の工期短縮を図り、震災から僅か5年での開通を達成することができた。

### 3. 事業の成果

熊本と阿蘇をつなぐアクセスルートの開通により、交通量は震災前の水準まで概ね回復し、地域経済の発展など、復興の加速化が期待されている。

また、早期復旧と安全性を考慮した復旧計画、早期復旧に向けた施工技術など、本復旧は、既往の震災に加えて熊本地震で得られた知見・教訓を最大限に活かして実現した橋梁工事として、今後の橋づくりの参考になるものと考えている。



賑わいをみせる新阿蘇大橋展望所「ヨ・ミユル」

### 4. おわりに

世界遺産登録を目指す阿蘇の雄大な風景、そこで育まれた美味しい水や農畜産物、良質な温泉資源など、阿蘇地域は大きなポテンシャルを有しており、国内及び海外の方々に賑わう阿蘇本来の日常が早く訪れ、各自治体等が進めている創造的復興への取り組みにより阿蘇地域が一層発展することを期待する。

賛助会員 (株)長大、大成建設(株)、日本鉄塔工業(株)、(株)八方建設、(株)杉本建設、(株)IHIインフラ建設